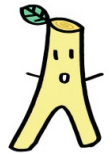




藤枝市の家計と財産の概要



～公会計制度にみる藤枝市の平成22年度決算（簡易版）～

藤枝市では、公会計制度に基づき、平成22年度決算における財務諸表を作成しました。これにより、藤枝市の資産状況や現金の流れなどの経営状況を知ることができます。また、財務諸表は民間企業でも作成しているため、民間企業との比較も可能になります。今回は、前年度の財務諸表と比較しながら見てみましょう。



壺じい、4つの財務書類ってなに？
どんなことがわかるの？



4つの財務書類とは、
「**行政コスト計算書**」、「**貸借対照表**」、「**純資産変動計算書**」、「**資金収支計算書**」のことじゃ。
民間の会社でも、それぞれ「損益計算書」、「貸借対照表」、「株主資本等変動計算書」、「キャッシュ・フロー計算書」を作成しておるんじゃ。
民間と同じような4つの表を作成することによって、民間との比較が容易になると
いわれているのじゃ。

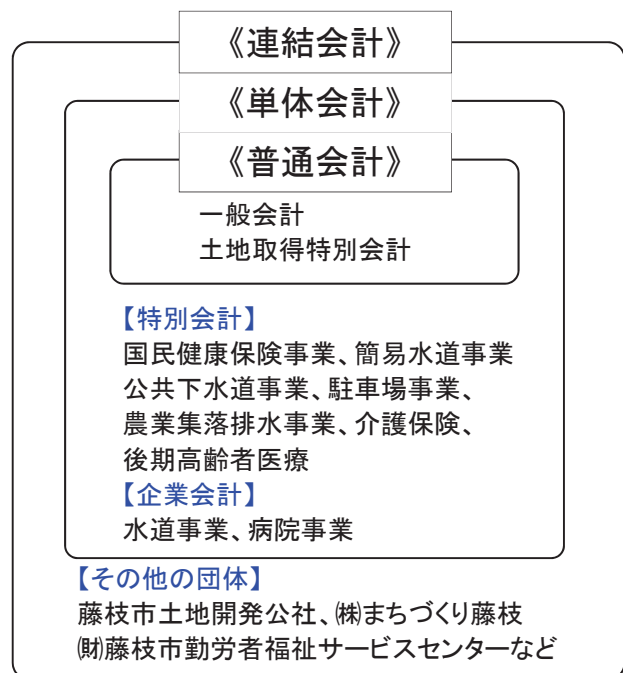
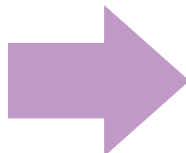


藤枝市の公会計は、どんな
会計で作られているの？



藤枝市の公会計は、**普通会計**（一般会計・土地取得特別会計）と、9つの特別会計・企業会計（**単体会計**）のほか、8つの外郭団体（**連結会計**）からできているのじゃ。
ここでは主に**単体会計**での説明をするぞ。

図解すると……



その1 行政コスト計算書

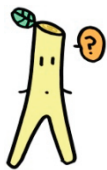


『行政コスト計算書』とは、市が行う様々な事業によってかかった「費用」と、使用料や手数料などの「収入」を表すものじゃ。昨年度と比べてどうなったかな？ここでは、単体会計について勉強するぞ。

前年度と比較すると・・・
経常費用が10億円増
経常収益が9億円増

【単体会計】 (単位: 億円)

科 目	H22	H21	前年度比
経常費用	664	654	10
経常収益	167	158	9
純行政コスト (一人当たり、万円)	497 (34)	496 (34)	1 (-)



経常費用と経常収益が増えているのがわかるね。これってどんなお金なの？

<解説>

『経常費用とは』

①人にかかるコスト

議員報酬・職員給与・退職給付引当金等

②物にかかるコスト

備品や消耗品の購入・施設等の維持補修費・減価償却費等

③移転支出的なコスト

子ども手当や団体等への補助金・社会保障費等

『経常収益とは』

施設の使用料や様々な証明手数料等

『純行政コスト』

経常費用を経常収益で賄えない部分のこと

前年に比べて経常費用が増えたのは、移転支出的なコストが増えたからじゃ。これは子ども手当などが主な理由じゃ。純行政コストを市民一人当たりで計算すると、**約34万円**のお金が使われたことがわかるのじゃ。平均は、20～50万円であるから、**藤枝市の純行政コストは低い**と言えるのじゃ。



その2 貸借対照表



次は、『貸借対照表』じゃ。これは、年度末時点の資産や負債、純資産を表すものじゃ。

【単体会計】

(単位: 億円)

《H21》	資産	負債 1,096
	3,988	純資産 2,892



前年度と比較すると・・・
資 産 43億円減
負 債 20億円減
純資産 23億円減

(単位: 億円)

《H22》	資産	負債 1,076
	3,945	純資産 2,869



前年と比較すると、負債が20億円も減っているのね！

そのとおりじゃ！

平成22年度は、借金の返済が進んだことで、負債が減ったのじゃ。

減価償却などにより資産は減少しておるが、**負債の4倍近い資産を持っているから、藤枝市の財政の健全性が十分確保されていることがわかるのじゃ。**



※純資産とは 道路や施設の建設や土地を購入した際にこれまでの世代が負担した経費のこと

その3 純資産変動計算書



3つめは、『**純資産変動計算書**』じゃ。
これは、1年間に、純資産がどのように
増減したかを表すものじゃ。

前年度と比較すると・・・
純資産残高は23億円減

【単体会計】

(単位:億円)

科 目	H22	H21	前年度比
I 財源変動の部	16	8	8
II 資産形成充当財源変動の部	35	15	20
III その他の純資産変動の部	△74	△81	7
当期変動額合計(I+II+III)	△23	△58	35
前期末純資産残高	2,892	2,950	△58
当期末純資産残高	2,869	2,892	△23

<解説>

『財源変動の部』とは

財源をどこから(税収や国・県補助金など)調達し、
どのように使われた(行政コストや出資金など)か
を表すもの

『資産形成充当財源変動の部』とは

固定資産や金融資産などの増減を表すもの

前年度は固定資産の価値の
見直し(固定資産の評価替)が
あったから、**純資産残高は
58億円減少**したが、今年度は
評価替はなく、純資産残高は
23億円の減少となったのじゃ。



その4 資金収支計算書



最後は、『**資金収支計算書**』じゃな。
これは、1年間の資金の動きを表したもので、
どのような活動に資金を使ったかを表すの
じゃ。

前年度と比較すると・・・
資本的収支が17億円増
基礎的財政収支が13億円増

【単体会計】

(単位:億円)

科 目	H22	H21	前年度比
I 経常的収支	93	97	△4
II 資本的収支	△37	△54	17
基礎的財政収支(I+II)	56	43	13
III 財務的収支	△40	△43	3
当期資金収支(I+II+III)	16	0	16
期首資金残高	28	28	0
期末資金残高	44	28	16

<解説>

経常的収支・・・市のサービスに係る経費
(人件費や消耗品費など)と
市税や国県からの収入との差額
資本的収支・・・固定資産や長期金融資産などの
支出と、固定資産や長期金融資産
の売却・償還収入との差額
財務的収支・・・支払利息や借入金の償還と
新たな借入との差額

「基礎的財政収支」って 何のこと?

基礎的財政収支は、プライマリーバランスと
もいうんじゃ。

これは、行政サービスに係る費用を、新たな
借金をせず、毎年の税収などで賄っている
かを表しており、平成22年度は、**プラス56
億円**となったのじゃ。

また、**期末資金残高**も前年度に比べて**16億
円増加**しておるから、この点でも、**健全性が
保たれている**と言えるのじゃ。



まとめ

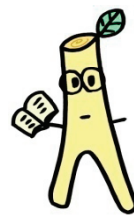


公会計にはいくつかの基準があつて、平成22年度の藤枝市の経営状況を藤枝市と同じ基準の約100団体と比べると、ほぼ中位にあり、

『健全な財政状態』

を保っておるぞ。

公会計についてだんだんわかってきたわ。これからも一緒に藤枝市の公会計を勉強していくわ。



登場キャラクターの紹介



ぼくの名前は、「えだっこ」。藤枝の文化や歴史をPRするキャラクターとして生まれたんだ！一緒に公会計について勉強しよう！



わしの名前は、「壺じい」。藤枝市の古代史PRをしているのじゃ。公会計のことなら何でもわしに聞くがよい。



わたしの名前は、「朝比奈ちまき」。岡部地区の歴史や文化をPRしているわ。わたしも一緒に公会計について勉強していこうと思うの。

公会計についてもっと詳しく知りたい方は、詳細版の資料もありますので、是非ご覧下さい。

【藤枝市ホームページ】

<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp>

藤枝市役所 企画財政部財政課

〒426-8722

静岡県藤枝市岡出山1-11-1

電話：054-643-3111 FAX：054-643-3604

E-mail：zaisei@city.fujieda.shizuoka.jp